

学校教育目標	～知・徳・体の調和のとれた子～ かしい子 心の豊かな子 たくましい子 (不易)
目指す学校像	◎笑顔のもとに笑顔が集まる学校 ◎礼節を重んじ、磨き合い・学び合い・高め合える学校 ◎安心、信頼、働き甲斐のある学校
重点目標	1 主体的に目標を設定し責任ある行動がとれる力(エージェンシー)をはぐくむ教育活動の推進 2 他者の豊かにかかわり、節度ある児童の育成とWell-beingを大切に児童の支援体制づくり 3 本校に根付いているスクール・コミュニティをさらに深化向上させ「本太小愛」の醸成を図る 4 安全で美しい教育環境の整備、防災の観点から危機意識を醸成した環境整備の推進 5 教職員の凝集性を高め、誇りと働き甲斐を感じる学校づくりによる働き方改革の推進

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学 校 自 己 評 価		年 度 評 価		年 度 評 価		学校運営協議会による評価	
年 度 目 標		年 度 評 価		年 度 評 価		実施日令和8年3月4日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	(現状) ○全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査では、国語、算数共に全国、市平均と比べ良好な結果である。また、単元ごとに実施しているワークテスト等の評価テストの結果も、90%程度の高い達成率を示している。 ○自ら課題を見出し、ICT等の多様なツールで解決しようとする態度と能力が身に付いてきた。 (課題) ○全国学力・学習状況調査の分析から、難しい問題に対して、最後まで諦めずに解決しようとする根気強さがやや欠ける傾向が見られる。	○学びの自立と探求的学びを推進するICTの効果的活用 ○自ら学習課題を設定する主体的な学びの推進 ○SSSPを活用した授業改善の推進	①全国学力・学習状況調査の振り返りや単元ごとのワークテストを通して、自らの学習課題を見出し、解決策を探れるよう学びの自立を深化させる ②各教科の授業でデジタルの優位性を生かせるような授業実践にチャレンジし、個別最適で探求的な学びの在り方について探っていく	①児童が自己採点の結果を基に、自らの学習状況を把握し、自分に合った目標を立て、達成に向けて主体的に学びを進めることができたか ②学校評価において、主体的な学びに関連する項目で85%以上の児童が肯定的な回答をしたか	① 全国学力・学習状況調査の結果を見ると、理科において大変良好な結果を得ている。日常の学習状況も大変良好である。 ②学校自己評価においても主体的な学びに関連する項目は概ね85%を超えることができた。	A	①児童の学びを個別最適化させ、さらに主体性と自主性を促進させる授業の改善に努める。 ②児童が、自ら課題を考え、学習に取り組めるカリキュラムを学年の発達段階に合わせて工夫していく。
2	(現状) ○不登校傾向の児童が複数名在籍している。必要に応じて、専門機関や学校の専門職とのつながりを持ち、対応している。 ○心と生活のアンケートや児童理解研修等を活用し、児童の不安や児童間のトラブル等の生徒指導案件には、迅速な組織対応をしている。 ○報告・連絡・相談・見届けを徹底させている。 (課題) ○児童間のトラブルへの対応方法を学校全体で共通理解をさらに深め、共通行動できる段階まで高める	○児童一人ひとりが豊かな学校生活を送れるよう保護者と連携した生徒指導・教育相談体制の更なる深化 ○迅速な報・連・相による組織対応力を向上させる	①スクールカウンセラーの日常的な活用により、児童の実態に応じた学びを確立できるようにする ②GIGA部を充実させ、授業活用と環境整備の両輪を加速させる	①年間30日以上欠席している児童が、前年度に比べ15%以上削減することができたか ②学校評価において、「学校を楽しみにしている」という設問に「そう思う」と回答する児童が75%以上になることができたか	①年間30日以上欠席している児童については、ほぼ前年度と同様の結果である。引き続き努力を要する。 ②約95%の児童が「学校が楽しい」と回答している。2人の教頭をはじめ、丁寧な指導に取り組み、保護者や行政の関係機関との連携も積極的に図ることができた。	B	①SCやSSWを活用した積極的な教育相談体制を今後も充実させていく。また、関係行政機関との情報交換、連携についてもさらに充実させていきたい。 ②教育計画推進部を中心にカリキュラムマネジメント力をさらに向上させ、魅力ある学校づくりを行う。
3	(現状) ○学校運営協議会、PTA本部会・運営委員会、本太スクールネットワーク、SSN、社会福祉協議会、青少年育成本太小地区会、本太公民館運営協議会などを通して、重厚なスクール・コミュニティが形成されている (課題) ○学校運営協議会をはじめとする既存のネットワークを更に深化・充実させ、教育活動の充実を図る ○首都圏直下型の大地震に備え、学校・家庭・地域が連携した防災体制の整備。	○学校、地域、家庭の持続可能な連携・協働体制を深化・充実させる ○学校運営協議会等における熟議の充実 ○防災に対する熟議の実施	①積極的に学校教育に関する情報を発信し本校の教育活動に対する理解を深めていただき、学校・家庭・地域の連携をより強固なものとする ②学校行事への参加招聘、保護者・地域行事への積極的な参加	①学校HPブログ校長通信「教育は愛」を週に3日以上更新できたか ②PTA、青少年育成本太小地区会等の地域行事等に98%以上参加できたか	①ブログの更新は、毎日行うことができた。アクセス件数100万件を超えており学校への信頼感は高まっている。 ②目標に掲げた回数は達成し、保護者・地域との連携を深めた。	A	①②保護者・地域の皆様との一体感をさらに維持継続できるよう情報発信と様々な場での熟議を活発に行っていく。
4	(現状) ○マイスクールファンドを活用し、防犯カメラや防犯ブザーを整備し、学校の安全度を向上させている。 (課題) ○近隣樹木の倒壊や枝の落下等の危険が懸念される	○毎月の安全点検を充実させる ○自治会や育成会と連携と協働を強化する	①日々の点検で危険箇所を早期に発見し教育委員会と連携を図りながら安全措置を速やかに行う。 ①自治会と連携した危険が懸念される近隣樹木の伐採を行い、学校の安全度を高める	①毎月10日に実施している安全点検の結果を学校全体で情報共有できたか また、危険箇所発見時には、速やかに改善または市教委へ相談できたか ①校舎に隣接している巨大ケヤキの伐採を行い、学校の安全度を向上できたか	安全点検は、恒常的に取り組み、教職員全員で児童の安全度を高める意識を醸成できた。また、防犯ブザーを全ての階に設置しより一層児童の安全度を向上させた。 自治会長のご尽力で、懸念だった巨大樹木を伐採や通学の妨げとなる樹木の剪定もしていただいた。	B A	校内の危険箇所等を引き続き、恒常的に点検する教職員の意識を醸成する。防犯について、様々な角度から自己点検を繰り返す。 常に自治会や育成会、PTAと児童の安全についての意識を共有し、連携を強化していく。
5	(現状) ○教育に対する愛と情熱を持つ教員が多く、昨年度から始めた1人1テーマの学校課題研修に意欲的に取り組んでいる。 ○校長の学校経営方針を踏まえ、学年主任等の主任を中心に、主体的な学年運営がされている。 (課題) ○教職経験が浅い若手教員を児童・保護者のニーズに応えられる授業力を向上させる ○本音で語り合える真の「和」を職場に構築する	○教職員の明るく肯定的な人間関係の構築による働き方改革の推進	①「研究は個性」という理念のもと、自主的・主体的な研修を推進する ②学年主任等のマネジメント裁量を拡大し、失敗を恐れず、チャレンジ精神を持って教育活動を推進し、仕事へのやりがいと学校の創意・工夫を推進する ①遠慮なく本音で話し合える人間関係の構築を目指し、風通しの良い、真の「和」に包まれた職場として働き方改革を推進する	①教員のキャリアや特性を生かした本校独自の校内研修で全員が研究発表できたか ②学校評価における「授業の工夫改善」の項目において、肯定的な回答が80%以上になったか ①学校評価にイける「教職員の働き方改革に向けた取組が適切に行われているか」に「そう思う」と回答した教職員が45%以上にできたか	①教員一人ひとりの個別化研修については、着実に定着してきた。 ②評価では「授業の工夫改善」の項目が97.2%に達している。 学校評価で「そう思う」は58.3%、肯定的な回答は88.9%に及んでいる。	B A	①②教員が主体的に取り組んでいる研修が教員のエージェンシーに結び付いている今の状況と教員の意識を今後も継続できるよう3年目の集大成となるR8の研修発表会を成功させる。 教職員のやりがいを感じる職場とするため、さらに風通しの良い職場環境の構築に努めていく。

学校運営協議会からの意見・要望・評価等

- ・学力が高いことはとても評価できる。基礎・基本の学習はその後の学力に生きると思う。安心して学習できる環境を整えて、様々な経験を積み重ねてほしい。
- ・タブレット活用等のデジタル機器の活用した学習も大切だが、紙と鉛筆による学習も大切である。引き続き、デジタルとアナログが効果的にミックスされた学習活動を展開してほしい。
- ・SCとSSWが連携をしっかりと図れていることが素晴らしい。これからもチーム本太で頑張っていたきたい。
- ・いどろり学園に入学を希望している児童にも、地域とのつながりを継続してほしい。
- ・様々な情報発信や地域との連携により、学校をより近くに感じることができている。
- ・登下校時における災害発生時についても何かしら対策しておくことよい。
- ・地域と連携して、学校安全に尽力していることが素晴らしい。
- ・マイスクールファンドは素晴らしい制度である。他の学校にもどんどん広めるべきである。
- ・児童が安全に登校できるように、引き続き、学校と地域で連携していきたい。
- ・熱意のある先生がたくさんいることにとても感謝している。先生方の真剣な気持ちは必ず子ども達に伝わるので引き続き頑張ってもらいたい。

